

北海道北部における夏のオオハクチョウの記録

藤巻裕蔵

072-0005 美唄市東4条北2丁目6-1

2008年8月29日に国道号を稚内に向かう途中、海岸沿いの沼でオオハクチョウ1羽を見た。

場所は浜勇知と抜海、国道と海岸との間にある沼(45. 17. 44N、141. 37. 24E)である。この個体は成鳥で、ときどき頭部を水中に入れては採餌していた。観察時間はそれほど長くはなかったが、その間ずっと同じような行動であったので、この個体が飛べるかどうかは確認できなかった。

最近、怪我などで飛べなくなった個体が越冬地に居残り、それとつがいになっている個体も一緒にいて、繁殖する例が少なくない。しかし、1羽だけでしかも渡り途中とおもわれる地域に残っているのは珍しい例だとおもう。北上する途中で、翼の怪我などの理由で飛べなくなり残留したのであろうか。



図1. 沼で観察されたオオハクチョウ(写真:花田行博)